



科目名	障害児・者福祉論	形態	講義	開講期	春学期
担当教員	繁昌 成明	単位	2	年次	1

＝授業科目の目標＝

障害児・者福祉は、一人ひとりが障害について正しく理解し、社会的理解へと広げ深めていくことが重要です。現在、障害の概念は国際障害分類の試案が提唱され、環境要因の影響を含めてより積極的に障害を捉える考え方になっています。ここでは障害の早期発見と療育から生涯発達支援に関する基礎的な知識を学びます。そこから、音楽活動を障害児・者福祉に活かす福祉論に展開していくことを目標にします。

＝履修の条件と学習の方法＝

基本的には、障害児者福祉論を基礎にして、秋学期の障害学研究へと深めていく方向で連続した受講が望ましい。福祉論では今後の音楽活動を実践する音楽家・音楽教員にとっての基礎知識を学ぶ。また、障害学研究では、治療・教育・福祉の領域で音楽を自己表現の一つの手段として活用する方向で学習する。従って、自分を知ること、語ること、イメージすること、様々に表現するという心的体験を大切にする。心理臨床学の手法を取り入れ演習方式で行なう。（受講生の数および意欲によっては一部変更する）

＝授業内容＝

- 1回 障害児者福祉論で学ぶこと
- 2回 障害児者福祉の理念
- 3回 障害の概念と歴史
- 4回 障害者基本法
- 5回 障害者自立支援法
- 6回 発達障害者支援法
- 7回 発達段階について
- 8回 発達障害の定義と診断
- 9回 障害の早期発見と早期療育

- 10回 障害児の発達支援と福祉
- 11回 医療・療育・特別支援教育・福祉
- 12回 障害者の自立と支援
- 13回 障害児者と芸術・文化・レクリエーション
- 14回 障害児者福祉と音楽活動
- 15回 ころを育てる福祉：何を学んだか

＝成績評価の方法と評価の基準＝

- ・レポート、試験：5割（期末レポートの提出）
- ・平常点：5割（体験学習での小レポートや感想文・自分の言葉で述べること）

＝テキスト（必携）＝

特になし